宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ング	地理	太陽 光	陸上 風力	小水 力	洋上 風力	農業	市の 施策	その他
1	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	質疑	ゾーニングマップは個人への配布を行うのか。	宮古市のホームページ上で公開する予定であり、紙面による個人への配布は考えていない。	—	●								
2	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加が課題である。耕作放棄地への再生可能エネルギー導入に向けて農林課・農業委員会と連携し、計画的に進めてもらいたい。	農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加については、地域の課題として認識している。農林課や農業委員会と情報を共有しながら再生可能エネルギー導入を進める。	農林課や農業委員会へのヒアリングを実施し、意見交換をした。								●	
3	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	地域の合意形成を図り、まとまった面積を確保した上で再生可能エネルギー施設を導入してはどうか。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
4	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	耕作放棄地が増えるとその土地に関連する農道、水路の管理がされなくなり、劣化していく。耕作放棄地に再生可能エネルギー施設を導入し、その土地に関わる農道、水路の維持管理も実施できるようにしてはどうか。	今後の取り組みの参考とする。	—							●	●	
5	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	国庫補助が導入された農地を、再生可能エネルギー施設等の目的外の用途として使用できるようにしたい。	今後の取り組みの参考とする。	—							●	●	
6	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	再生可能エネルギー施設を建設した後の施設の維持管理に地元の雇用が生まれるような仕組みがあればよいと考える。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
7	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	国土調査が完了し、地目上は農地だが、農業に適さない土地が明確になった。このような土地に再生可能エネルギー施設を導入するよう、地域の計画を作りたい。	—	—							●	●	
8	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	イノシシが増えており、安全のために耕作を放棄せざるを得ない農家が増えている。例えば農地に太陽光パネルを設置し、その収益で電気柵を購入する制度等を考えてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—			●				●	●	
9	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	質疑	再生可能エネルギーを活用した農業の事例が知りたい。	宮古市内の事例で紹介できるものはないが、農林水産省のホームページで営農型太陽光発電の事例が紹介されているので参考としていただきたい。	—							●		
10	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	説明会への参加者が少ないため、ここで出された意見が地域の意見と捉えられるのは不安に感じる。再生可能エネルギー事業を多くの住民に自分事として捉えてもらうよう、情報共有の輪を広げていきたい。	—	—	●								
11	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	再生可能エネルギー事業に関する説明会が多くあるが、事業主体が市なのか企業なのかわかるようにしてもらいたい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
12	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	ゾーニング事業の説明ではなく、農業振興のための再生可能エネルギー事業であれば多くの市民が興味を持つと考える。	今後の取り組みの参考とする。	—	●								
13	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	質疑	保全エリアにおける法規制を解除することは難しいのか。	法令の種類にもよるが、全体的に難しいと考えている。	—	●								
14	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	質疑	川井地区には、現在進行中の再生可能エネルギー事業があるか。	まだ構想段階だが、再生可能エネルギー発電事業者から説明を受け、把握している計画がある。	—		●							

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ング	地理	太陽 光	陸上 風力	小水 力	洋上 風力	農業	市の 施策	その他
15	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	再生可能エネルギー事業が導入される場所は、地権者側は活用してもらいたいと考えるだろうが、土砂流出防止等の観点から、地域としては保全したいと考える場所もある。	今後の取り組みの参考とする。	—	●								
16	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	質疑	新里総合事務所で開催したPPA事業のような事例はほかにもあるのか。	その他の公共施設にも、PPA事業により再生設備導入を行うよう進めている。現在、適地を簡易調査しているところ。	—			●					●	
17	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	情報提供	小水力発電を実施したいという業者が現地を視察しているという話を聞く。	—	—					●				
18	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	川井	意見	ゾーニング説明会の情報を知らない人が多いと考えるが、自分の住んでいる地域には興味があると思う。改めてまちづくりふれあい講座で地域住民を集めて、ゾーニングマップ作成に向けた話し合いができると良い。	ぜひ、まちづくりふれあい講座に申し込みをいただきたい。	まちづくりふれあい講座を開催し、地域住民との意見交換の場を設けた(小国地区)。	●								
19	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	カモシカ保護地域は国有保安林よりも規制が緩いはずだが、調整エリアへ変更した方が地域の土地の有効活用に繋がるのではないか。	カモシカ保護地域について、確認する。	有識者ヒアリングや関係部局との意見交換を踏まえた検討の結果、カモシカ保護地域は保全エリアに含めず、留意事項という位置づけで整理した。	●								
20	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	宮古市と事業者とで、事業可能性の考え方が異なる。事業者と直接ヒアリングする機会があると良い。	今後の取り組みの参考とする。	—	●								
21	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	宮古市と隣接する市町村の境界付近の情報があれば良いと考えるが、情報公開するには隣接する市町村との調整が必要になるのか。	隣接する市町村との調整が必要となるため、宮古市外の情報は公開しない。	—	●								
22	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	ゾーニングマップには筆界線が無いため、誰の所有地なのかわからない。	ゾーニングマップは広域的な適地選定を行うことを目的としているため、筆界線等の詳細情報は掲載しない。	—	●								
23	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	耕作放棄地での太陽光発電で電気柵を運用する等、再生可能エネルギー事業を農業振興につなげてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—			●				●		
24	R5.8.20	地域説明会 (第1回)	新里	意見	より多くの地域の住民から意見を集めれば、より実態に合った促進エリアが設定できると考える。	今後の取り組みの参考とする。	—	●								
25	R5.8.27	地域説明会 (第1回)	田老	質疑	促進エリアは、事業の採算性も担保されている区域ということか。	採算性は考慮しておらず、事業者の判断に委ねられる。	—	●								
26	R5.8.27	地域説明会 (第1回)	田老	質疑	営農している農地も太陽光発電の促進エリアとなるのか。	ゾーニングマップでは営農している農地も促進エリアに含まれる。このような場合は、営農型太陽光発電の導入を想定している。	—	●		●				●		
27	R5.8.27	地域説明会 (第1回)	田老	質疑	果樹園が促進エリアに入っているが、果樹園で太陽光発電ができるのか。	樹高にもよるが、果樹園での太陽光発電の事例はある。	—	●		●				●		
28	R5.8.27	地域説明会 (第1回)	田老	質疑	漁港等、送電線から遠い場所を促進エリアにする理由は何のようなものか。	送配電系統に繋がらずに、オンサイトでの自家消費及び近隣需要地に配電する可能性もある。ゾーニングマップにおいては、送配電線の位置情報を追加する予定である。事業者は、送配電線との位置等も含めて、事業採算性を判断する。	—	●								

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾーニング	地理	太陽光	陸上風力	小水力	洋上風力	農業	市の施策	その他
29	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	宮古市では、再生可能エネルギーの導入目標値はあるのか。	「宮古市再生可能エネルギー推進計画」における導入目標は280,065kWである。この数値は、ゾーニングマップに表示した促進エリアの面積で十分に達成できる見込みである。	—									●
30	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	市が出資する田老太陽光発電所、津軽石太陽光発電所の運営は、収益が出ているのか。	収益が出ており、市へも配当金が入っている。	—			●						●
31	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	意見	太陽光パネルが増えると、周辺の住環境に悪影響を及ぼすと考える。住民が納得したうえで太陽光発電事業を実施してもらいたい。	今後の取り組みの参考とする。	—			●						
32	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	市街地の促進エリアは、屋根置き太陽光を想定したものか。	家屋には屋根置き太陽光、農地にはソーラーシェアリングを想定している。	—	●		●						
33	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	再生可能エネルギー導入の促進は良いことだと考えるが、一方で設備の維持管理や廃棄の問題はどのように考えているか。事業終了までの費用を担保するように条例で定めてはどうか。	改正再エネ特措法においては、廃棄費用の積み立てが義務化している。再生可能エネルギー事業者が悪質であると発覚した際は、宮古市再生可能エネルギー推進条例により、勧告・公表することが可能である。	—									●
34	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	意見	宮古新電力と商店街とで、エネルギーの地産地消を啓発するイベントを開催してはどう	今後の取り組みの参考とする。	—									●
35	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	宮古市内で風力発電事業の動向があれば教えてほしい。	合同会社グリーンパワー宮古岩泉による大型風力発電事業が計画されている。また、脱炭素先行地域の計画において、田代地区亀ヶ森牧野での中型風力発電事業の検討を進めている。	—				●					●
36	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	大型風力発電機は、壊れやすく、騒音による周囲への悪影響があると聞か、中・小型の風力発電機は破損等のリスクが少ないのか。	中・小型風力発電機は、国内での生産が可能であり、日本の風土に合わせて設計されるため、破損のリスクが軽減することを期待している。	—				●					
37	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	ゾーニングの対象となる陸上風力発電は、大型の風力発電を想定しているか。	大型風力発電に加え、中・小風力発電も想定している。ただし、促進エリアを決めるための事業性の条件として、大型風力発電機の高さを想定した風速を基準としていることに注意が必要。	—	●			●					
38	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	今後、市が再生可能エネルギー事業を進める際には、市が民間事業者に依頼して事業を実施するのか。	基本的には、民間事業者が主体となって再生可能エネルギー事業を行う。ゾーニングマップを公表することで、再生可能エネルギー事業者への間接的な支援になると考えている。今後は、地元の事業者が再生可能エネルギー事業に参画しやすい仕組みづくりを行いたい。	—	●								●
39	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	質疑	市内の事業者が太陽光パネルを導入する場合、補助制度はあるか。	市では、10kW未満の太陽光パネルを設置する市民又は市内事業者に対し、補助を行っている。それ以外でも、国や県の補助制度を受けられる場合があるので、検討する際は市エネルギー推進課に相談していただきたい。	—			●						●
40	R5.8.27	地域説明会(第1回)	宮古	意見	EV車普及のために、出力の高い充電スポットを拡充させるべきと考える。	今後の取り組みの参考とする。	—									●
41	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	当講座の目的は。	再生可能エネルギー導入の適地を明確化するゾーニングについての講座である。	—									●
42	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	農地は種別によっては事業ができないと考える。市が促進エリアに設定しても、農地法の制約で実施不可となる場合があるのでは。	第2種、第3種の農地は、調整すれば事業が可能という認識である。	—	●						●		

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ング	地理	太陽 光	陸上 風力	小水 力	洋上 風力	農業	市の 施策	その他
43	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	地域の問題として、農業で収入を得るのが難しくなってきたが、農地を放置するより、別な形で活用することを考えるべきではないか。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
44	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	再生可能エネルギー事業者が市民の土地を利用して発電事業を行う際、借地と土地の購入の二通りあると考えるが、残置物を置いたまま撤退する業者がいると聞くので、借地は好ましくないと考える。仮に業者が倒産して土地所有者が不利益を被った場合、市から保証があるか。	借地か土地の購入かは、再生可能エネルギー事業者と地権者の協議で決まることから、市は関与しない。改正再エネ特措法においては、廃棄費用の積み立てが義務化している。再生可能エネルギー事業者が悪質であると発覚した際は、宮古市再生可能エネルギー推進条例により、勧告・公表することが可能である。	—			●	●	●			●	
45	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	市が公共事業として小国地区に再生可能エネルギー設備を導入することはできないのか。市が参画して進めている事例はあるのか。	市が主体となる事業は想定していない。他地域では、市が参画する太陽光発電や、中型風力発電を計画している。	—		●							●
46	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	情報提供	戸草(小国川と閉伊川の合流地点付近)は小水力発電の適地になるのではないかと。落差が10m程度ある。	小水力発電の候補地を現地を確認する際に当該地点を確認する。第2回のパブリックコメントの際に小水力発電関係の資料を提案する予定である。	情報提供いただいた小水力発電の候補地を現地調査の対象に含めた。	●	●			●				
46	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	ゾーニングマップには地権者の合意状況を掲載しないのか。	考えていない。	—	●								
47	R5.9.22	まちづくりふれあい講座	川井	質疑	再生可能エネルギー事業者から地番や農地の種別等に関する問合せがあった際、どのように回答すればよいか。	農地に関する問い合わせは農業委員会、その他はエネルギー推進課で回答する。	—									●
48	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	温室効果ガス排出量の実質ゼロとは、温室効果ガスの排出量を可能な限り減らし、その上で森林等による吸収量を増やし実質的にゼロにする、という理解でよいか。	そのとおり。	—									●
49	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	岩手県は森林が多い県だが、CO ₂ 吸収効果が高いと考えてよいのか。	吸収効果は高いと考えている、ただし、吸収効果を高めるには、計画的な間伐や更新伐等、適切な管理が必要となる。	—									●
50	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	CO ₂ 排出量が最も多い分野は何か。	最も多い分野は産業部門。次いで、運輸部門、業務その他部門、家庭部門となっている。	—									●
51	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	県南は工業地帯が多いため、特に産業部門・運輸部門の排出量が多いような印象がある。宮古市をはじめ沿岸部分はどのような状況か。	地区別に詳細な排出量の算定はしていないが、工業地帯があるため、産業部門、運輸部門のCO ₂ 排出量が多いと考える。	—									●
52	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	洋上風力発電の分野について、県内では久慈市が先立って推進しているという印象がある。宮古市は現時点で検討しているのか。	宮古市は現在情報を収集している段階である。地産地消型の洋上風力発電について検討していたが、洋上風力発電の大型化が進んでおり、市が単独で実施できる規模ではないため、国、県の動向を見ながら進めていくこととしている。	—						●		●	
53	R5.10.24	オンラインワークショップ	WEB	質疑	宮古市が進めているゾーニング事業は、事業者と個人のどちらを対象としているのか。	どちらも対象としているが、主に事業者向けである。事業者に対しては、導入適地を示すことで導入の検討に活用して欲しい。個人に対しては、屋根置き太陽光発電の導入等に役立つと考えている。	—	●								

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ニ ン グ	地 理	太 陽 光	陸 上 風 力	小 水 力	洋 上 風 力	農 業	市 の 施 策	そ の 他
54	R5.10.24	オンライン ワークショッ プ	WEB	質疑	ゾーニングによる支援の対象になる再生可 能エネルギー事業者は、既に事業を実施して いる事業者か、新規で事業を検討する事業者 のどちらを想定しているか。	いずれの事業者も含まれるが、特に新規の事 業を検討する事業者にとっての支援となる ことを想定している。ゾーニングマップに よって事業検討の手助けができればと考え	—	●								
55	R5.10.24	オンライン ワークショッ プ	WEB	質疑	宮古市が目標としている地産地消エネル ギーの循環は、促進エリアの面積で達成でき るのか。	目標達成には十分な面積を確保している。	—	●							●	
56	R5.10.24	オンライン ワークショッ プ	WEB	質疑	再生可能エネルギー事業者が発電所を設置 する際の進め方として、ゾーニングマップに 示されている促進エリアの中から場所を選定 して進めるという流れでよいのか。	ゾーニングマップは、再生可能エネルギー事 業者への参考資料という位置づけである。再 生可能エネルギー事業者によっては、促進エ リア外でも事業実現性があると判断する場 合がある。市は、宮古市再生可能エネルギー 推進条例において、事業計画を把握し、場合 によっては勧告・公表ができる。	—	●								

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾーニング	地理	太陽光	陸上風力	小水力	洋上風力	農業	市の施策	その他	
57	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	岩手県は、全国の中でも優位な再生可能エネルギーの豊富な地域資源を有する県であり、とりわけ風力エネルギーの賦存量がありながら、これまで十分な活用ができていない、その理由は、民間からの投資を呼び込むことや産業誘致が課題だった。 今まさに、温暖化対策と経済振興の両輪を回していくことが、山村地域の活性化につながるものだと考える。 希少動植物を理由に風力発電事業に反対する声を報道等で耳にするが、反対するのであれば、地域活性化に資する代替案を提示すべきだと考える。	—	—										●
58	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	今回公開されたゾーニングマップは、これまでに岩手県が公表した内容とは異なり、保安林や農用地区域を一律に除外しない内容となっており、より現実的な内容であり、支持したい。 災害を誘発するような事業は行うべきではないと考えるが、今後より再生可能エネルギーを導入していくために、今回の作成するマップに基づき、今まで以上に積極的な事業者の参入、宮古市の誘致、協力、参画に期待する。	—	—	●									
59	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	宮古市に隣接する市町村が区域外となっているが、例えば風力発電の場合は、行政区界となる山尾根が適地になるケースもあることから、宮古市外についても【参考情報】として、そのポテンシャルを表示することで、事業者の導入検討をより促進できると考える。	隣接する市町村との調整が必要となるため、宮古市外の情報は公開しない予定である。	—	●	●								
60	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	風力発電の条件設定で標高1,200m未満とされているが、風力発電機の大型化や、機器性能の向上により、現在事業者が行う事業化検討条件に即していないと感じる。標高1,300m以上の地域での検討、協議実績もあり、風車メーカー含めて問題ないと考え	環境省のポテンシャル調査の事例を参考に標高1,200m未満の条件を設定している。標高による事業性の判断は各事業者が判断するものと考えている。	—	●		●							
61	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	陸上風力発電の促進エリアの条件設定のうち、最大傾斜角20度未満との設定がされているが、林野庁が定める保安林解除マニュアルでは、傾斜角度が25度未満であることが条件となっている。 今後、保安林を対象とした事業検討が進んでいく中、保安林解除の手続き協議において、20度～25度の場所では、「市が適地としていない場所である」と判断され、協議が著しく困難になる恐れがあるため、国に準じて25度未満としてほしい。	環境省のポテンシャル調査の事例を参考に最大傾斜角20度未満の条件を設定している。主に山間地の保全を目的としており、保安林の解除のために設定している条件ではないことから、最大傾斜角20度未満とした。	—	●		●							

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾーニング	地理	太陽光	陸上風力	小水力	洋上風力	農業	市の施策	その他
62	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	図郭28(サドクガ森)付近が保全エリアに設定されている理由を示してほしい。 なお、上記理由がカモシカ保全地域ではないかと推察するが、当該保全計画の性質上、規制をする内容ではないと考えるため、調整エリアでよいと思う。 市の見解を教えていただくか、調整エリアへの変更を検討してほしい。	当該区域は、カモシカの捕獲を規制するものであり、施設整備等を規制するものではないことから、保全エリアから外した。しかし、カモシカは天然記念物に指定されており、当該地域で保全される必要があることから、カモシカへの影響を留意すべき区域として、留意事項という位置づけで整理した。	有識者ヒアリングや関係部局との意見交換を踏まえた検討の結果、カモシカ保護地域は保全エリアに含めず、留意事項という位置づけで整理した。	●	●							
63	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	陸上風力発電の促進エリア内に、谷や沢が適地とされている箇所が複数見受けられる。実際の事業化検討では除外すべき区域であることから、ゾーニングマップの正確性を向上させるために、このような場所を促進エリアから除外するよう検討してほしい。	当ゾーニングマップによるエリア分布は、市全域にかけて広域的な視覚表現をする必要があることから、1a(10m×10m)を最小単位としている。そのため、表現が難しい谷や沢は促進エリアからは除外していない。河川(本流のみ)、三陸沿岸道路、鉄道敷地及び把握済みの既存のメガソーラーの敷地については、ゾーニングの対象外とするよう見直し	河川(本流のみ)、三陸沿岸道路、鉄道敷地及び把握済みの既存のメガソーラーの敷地については、ゾーニングの対象外とするよう見直した。	●								
64	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	エネルギーの効率的な使用は地域脱炭素の鍵だと考える。 宮古市は、公共施設や交通インフラ等にエネルギー効率を向上させるためのプログラムを検討してほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
65	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	交通は温室効果ガスの排出に大きな影響を与えるため、自転車専用道路の整備、公共交通機関の改善、電動車の普及等、持続可能な交通手段を促進する取組を進めてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	●
66	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	電動車の普及のために、20kWh急速充電器の普及と、普及期に達するまでの充電無料化を進めてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	●
67	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	脱炭素化への成功は、地元コミュニティと住民の協力が不可欠であり、教育プログラム、ワークショップ、イベント等を通じて住民の意識を高め、参加を奨励する取組が多く必要と考える。	今後の取り組みの参考とする。	—									●
68	R5.10.31	パブリックコメント(1回目)	各支所ホームページ	意見	再生可能エネルギー源を活用し、市のエネルギー需要をカバーするための計画を具体的に進めるべきと考える。	今後の取り組みの参考とする。	—									●
69	R6.1.13	地域説明会(第2回)	川井	質疑	宮古市再生可能エネルギー推進条例における「再生可能エネルギー事業」について、屋根等に設置する太陽光発電の余剰電力売電は、対象となるか。	家庭内消費を主な目的とするのであれば事業に該当しないが、家庭内使用と比べて売電量が極端に増える場合は事業に該当する。	—									●
70	R6.1.14	地域説明会(第2回)	川井	質疑	ゾーニングの候補地は個人所有の土地も対象としたか。	個人所有の土地も対象とした。	—	●								
71	R6.1.14	地域説明会(第2回)	川井	質疑	宮古市は、合意形成にどのような目的を持っているか。	事業者が円滑に事業実施を行うことができるように、地域特有の意見を収集することを目的としている。	—	●								
72	R6.1.14	地域説明会(第2回)	川井	質疑	宮古市は、地域からどのような意見を求めているか。	保全、促進したい地域の情報のほか、再生可能エネルギー全般の意見や要望も求めている。	—	●								

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ング	地理	太陽 光	陸上 風力	小水 力	洋上 風力	農業	市の 施策	その 他
73	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	宮古市再生可能エネルギー推進条例における「地域主導型再生可能エネルギー事業の認定」に係る要件について、発電事業で生まれた収益の一部を還元することと定めてはどうか。	要件として具体的な数字を示すのは難しいが、金銭面や人材育成に対する地域貢献を促していきたい。	—									●
74	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	意見	原子力発電所が全て再稼働すると、エネルギーの余剰が生じるという内容を新聞の社説で読んだ。また、人口減少によってエネルギーの需要も減っていくと、再生可能エネルギー事業は継続するのか疑問。	現在国内にある原子力発電所が全て再稼働しても、電力需要を全て賅うことはできない。気候変動対策のためにも脱炭素の取組が必要であるため、再生可能エネルギー事業は拡大・継続すると考えている。	—									●
75	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	意見	再生可能エネルギー事業の拡大で雇用の拡大は見込めるのか、発電施設の雇用も数名しか雇用がないように思う。	再生可能エネルギー施設の従業員だけではなく、事業が拡大していく中で関連する雇用が増加することを期待している。	—									●
76	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	事業者が再生可能エネルギーを導入する際の補助金はあるか。	市としては、10kW未満の太陽光発電設備を設置する市民又は市内事業者に対する補助制度を設けている。岩手県では、20kW以上の太陽光発電設備を設置する県内事業者への補助制度を設けている。	—								●	
77	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	意見	宮古市内の企業が主体となって再生可能エネルギー事業に取り組む例はあるか。	株式会社ウツティかわいが発電事業を行っている。自家消費も発電事業だと捉えれば、主体となる企業は増えてきている。	—									●
78	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	太陽光パネルの処分費用に対して補助制度はあるか。	市では、処分に対する補助制度はない。	—								●	
79	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	宮古市版シユタットベルケについて説明してほしい。	市内の再生可能エネルギー事業や、地域新電力に対し、市が出資することで得られる配当金を市の基金に繰り入れ、市民へのサービスに還元していくという考え。	—								●	
80	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	どのように地域内経済循環を構築していくのか。	電力を地産地消することで、域外へのエネルギー代金の流出を抑制する。	—								●	
80	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	市民ファンドの内容について詳しく教えてほしい。	施設を建設する費用に対して出資していただくという考え。発電所の建設に地元の住民も関わって行くことを狙いとしている。	—								●	
81	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	質疑	小水力発電の現地調査を行う業者から、市の紹介と言われたが、市が参画している事業なのか。	市の事業ではなく、また、市が紹介したのものでもない。	—				●				●	
82	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	川井	意見	説明会の案内等、タイトルを工夫してわかりやすい表現にしてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
83	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	新里	意見	小水力発電に興味があり、北山川が気になる。また、農業用の用水路でできたらと思う。	今後の取り組みの参考とする。	—		●			●				
84	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	質疑	洋上風力発電の系統接続方法はどのようなものか。仮に宮古市で実施する場合のケーブルの距離や電圧について教えてほしい。	洋上風力発電設備には海底地盤着床式、浮体式がある。仮に宮古市の沖合から系統接続のための海底ケーブルを引く場合、距離は10km以上となる。陸上との系統連系も含めて課題が多い。	—						●			
85	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	質疑	ゾーニングマップを公開するメリットは何か。	マップの公開により事業者の事業検討の参考情報としてもらう。また、地域住民の方が事業へ参画する一助としたい。	—	●								

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾー ング	地理	太陽 光	陸上 風力	小水 力	洋上 風力	農業	市の 施策	その他
86	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	野立ての太陽光発電設備を建設する際には、 景観にも注意しながら、遊休地を活用する 等、配慮してほしい。	脱炭素先行地域において、東日本大震災の 津波により浸水した田老地区の遊休地を活用 し、夜間連系太陽光発電事業を行うことを 計画している。津波により浸水したその他の 小規模な土地の活用も検討したいと考えて いる。	—		●							
87	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	質疑	太陽光発電実施に関する課題はあるか。	①系統量が少ないため、増強が必要な場合 のコストが課題である。 ②台風等の災害による浸水が課題である。事 業の実施可能性は事業者が判断する。	—		●							
88	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	ホシガレイ、ナマコ、ウニの陸上養殖を実証中 である。洋上風力発電の事業化には漁業関 係者との協議、調整が必要である。	今後の取り組みの参考とする。	—					●				
89	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	野球場跡地の活用を検討してほしい。	活用する方針である。防潮林の成長による影 の影響も考えながら検討する。	—	●								
90	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	質疑	現在計画中の夜間連系太陽光発電事業に導 入する蓄電池は、国産か。	蓄電池、パネルとも可能な限り国内メーカ ーを活用することを目指している。	—		●						●	
91	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	太陽光発電設備の導入場所として高台移転 の跡地が活用できないか。	系統の空き容量も鑑みながら、太陽光発電 事業を検討する。並行して、家庭への屋根置 き太陽光発電の普及も進める。	—		●						●	
92	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	質疑	具体的に、市が関わる事業として夜間連系太 陽光発電事業以外の太陽光発電所の建設計 画はあるか。	現時点で、市が関わる事業として具体的に進 んでいるのは、夜間連系太陽光のみである。 来年度には工事を開始し、R7年10月頃の稼 働を目標としている。	—		●						●	
93	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	市内企業や道の駅の屋根への太陽光発電設 備の設置を検討してほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—		●						●	
94	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	原地山は風況が良いので、風力発電に向い ていると思う。	今後の取り組みの参考とする。	—	●		●						
95	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	小規模な発電所が増えれば市内事業者の維 持管理業務が増えるため、進めてほしい。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
96	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	宮古市内に再生可能エネルギーの発電所が 増えれば、市民向けにツアーを実施してほし い。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
97	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	沿岸部の広大な未利用地で太陽光発電を進 めればよいと思う。	今後の取り組みの参考とする。	—	●	●							
98	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	田老	意見	再生可能エネルギーの取り組みは、夢のある ものだと思っている。市内で増えればよいと 思う。	今後の取り組みの参考とする。	—								●	
99	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	質疑	小水力発電の個票(カルテ)について、赤線部 分は小水力発電を実施してよい場所か。	地権者や漁業権者との合意、事業採算性は 加味されていないため、事業実施の際は調 整が必要である。	—	●			●					
100	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	質疑	津波浸水想定区域が保全エリアの条件に含 まれていないのはなぜか。太陽光パネルの廃 棄について国としても方針が定まっていな い。設置高を上げる等、浸水しない手法を検 討してほしい。	震災時に被災した土地を活用する考え方 に基づき、津波浸水想定区域は保全エリアの条 件に含めていない。50～100年に1度の津 波は防潮堤で防ぐ想定である。事業計画段 階で太陽光発電設備の減価償却・除却の費 用を計上するよう定められている。津波によ る被害は地震保険・火災保険の保証対象外 であることを加味したうえで事業実施を行 うかは事業者委ねている。 駐車場の屋根に太陽光パネルを設置する事 例(ソーラーカーポート)もある。	—	●	●							

宮古市再生可能エネルギーゾーニングマップ ゾーニング意見集約一覧表

令和6年5月時点

No.	受付日	名称	場所	属性	内容	回答	措置	ゾーニング	地理	太陽光	陸上風力	小水力	洋上風力	農業	市の施策	その他
101	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	質疑	営農型太陽光も検討しているのか。	検討の対象としている。県内では陸前高田市のブドウ栽培事例がある。千葉県匝瑳市の大豆栽培は先進的事例のため、参考にしたいと考えている。	—	●	●							
102	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	質疑	風力発電機はどのようなものがあるか。住宅地域でも促進エリアの色付けがあるが、事業実施できるのか。	風力発電機も複数の種類があるが、事業用は大型の風車が主である。ゾーニングマップは風況や地上開度、傾斜等により促進エリアの条件に合致した範囲が色付けされており、事業実施に向けては個別地の風況観測等により適地の選定が必要である。	—	●		●						
103	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	意見	需要家(工場等)と供給地(発電所)が近くにあれば良いのでは。	供給地(再生可能エネルギー発電設備)があることを事業者(企業)誘致のアピール材料としている事例もある。	—	●								
104	R6.1.14	地域説明会 (第2回)	宮古	質疑	宮古市はどの程度の規模の太陽光発電が必要か、メガソーラーを実施する予定はあるか。	2021年度比で94,109kWを増やす目標としている。田老地区の夜間連系太陽光発電事業、家庭の屋根置き太陽光発電を併用して目標を目指す。現在、メガソーラーの実施予定はないが、可能性としてはある。	—			●					●	